



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.868 2013年2月4日

ARIBからのお知らせ

平成24年度会員懇談会開催のお知らせ

平成24年度会員懇談会を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。
(本件は、1月22日付け文書にて既にお知らせ済みのものです。)

記

- 1 日時 2013年2月22日(金) 午後5時10分から6時40分まで
- 2 場所 ホテルニューオータニ おり鶴 麗の間 (ザ・メイン アーケード階)
千代田区紀尾井町4-1 (電話 03-3265-1111) <http://www.newotani.co.jp/tokyo/>

付記

本懇談会は、一般社団法人への移行を機に従来2月期に行っていた次年度事業計画及び予算に関する総会決議が理事会決議により可能となったことから、これらに代わり本懇談会において報告するとともに合わせて懇親会を行うものです。

【問合せ先】

一般社団法人電波産業会 総務部 宮田又は平野
東京都千代田区霞が関1-4-1
電話:03-5510-8590 E-mail:miyata@arib.or.jp

第106回電波利用懇話会開催のお知らせ
「将来型3DTV技術の研究開発動向と今後の展望について」

立体テレビ(3DTV)放送は新しいサービスとして期待され、現在、複数の3DTV番組が国内・外で放送されています。この立体表示は二眼立体方式に基づく、いわゆるメガネあり立体テレビです。

一方、この方式とは全く異なり、メガネ不用で、見る位置に応じて自然に映像が変化し、実物と同様な立体効果を再現できる方式(将来型3DTV)の研究開発も進められており、ARIBでも放送新技術調査研究会のもと次世代および次々世代で想定される3DTV番組や放送サービスの形態を予測し、その実現に必要な技術上の要求条件等について、調査研究を行っています。

今回の電波利用懇話会では、将来型3DTV検討作業班主任の洗井様をお招きして、下記によりご講演をいただきます。

会員の皆様には、是非ともご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 : 2013年2月22日(金) 14:00から15:00
- 2 場所 : 一般社団法人電波産業会 会議室
東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11階
- 3 題名 : 「将来型3DTV技術の研究開発動向と今後の展望について」

- 4 講師 : ARIB 放送新技術調査研究会将来型 3DTV 検討作業班 洗井 淳 主任
(日本放送協会 放送技術研究所テレビ方式研究部 主任研究員)
- 5 対象 : ARIB 正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 60 名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 申込先 : 当会ホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「講演会等開催案内」まで
- 8 参加費 : 無料
- 9 問合せ先 : 企画国際部 電波利用懇話会事務局 佐藤 まで
TEL: 03-5510-8592
E-mail: arib-seminar2012@arib.or.jp

ARIBの動き

第 104 回電波利用懇話会を開催 「移動通信技術・サービスの最新動向と今後の展望について」

1 月 28 日(月)に、第 104 回電波利用懇話会を当会の会議室にて開催いたしました。

今回は移動通信技術・サービスの最新動向等について、講演とパネルディスカッションの 2 部構成で開催しました。第 1 部では、最新動向と課題について、総務省 総合通信基盤局 田原 移動通信課長、NTT ドコモ 研究開発センター 無線アクセス開発部 梅田部長、KDDI 技術開発本部 標準化推進室 松永副室長及びソフトバンクモバイル技術統括 標準化推進部 上村部長からご講演を頂きました。

講演では、田原移動通信課長から「移動通信をめぐる最近の動き」について、梅田部長から「LTE/LTE-Advanced のさらなる発展」について、松永副室長から「3M 戦略：マルチネットワークの推進」について、上村部長から「ソフトバンクモバイルの現状と今後の展望」について、それぞれ最新動向をご紹介頂きました。

第 2 部では、今後の展望について、全講演者がパネリスト、当会の鳥越企画国際部長が進行役となって、パネルディスカッションを行いました。

第 1 部での講演内容を踏まえ、「2015 年以降の移動通信」、「海外への事業展開」、「国内のスマートフォン・携帯端末の国際競争力」に関し、今後の展望・将来像や ARIB の果たす役割について活発な意見交換が行われました。

今回の電波利用懇話会は非常に多数の申し込みがあり、約 120 名の会員の皆様に聴講いただきました。

なお、講演のプレゼンテーション資料については、当会の Web サイト「お知らせ・お問合せの講演会等開催案内 (<http://www.arib.or.jp/osirase/seminar/index.html>)」において、ダウンロード公開予定です。



第 1 部 「移動通信技術・サービスの最新動向と今後の展望について」講演の様子



総務省
総合通信基盤局
移動通信課長
田原 康生 様



株式会社 NTT ドコモ
研究開発センター
無線アクセス開発部
部長
梅田 成視 様



株式会社 KDDI
技術開発本部
標準化推進室
副室長
松永 彰 様



ソフトバンク
モバイル株式会社
技術統括
標準化推進部
部長
上村 治 様



第2部 パネルディスカッションの様子



パネルディスカッション進行役及びパネリスト（講演者）の皆様

2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件
— 情報通信審議会への諮問 —

【平成 25 年 1 月 18 日の総務省報道資料から】

総務省は、本日、情報通信審議会（会長：西田 厚聰 株式会社東芝 取締役会長）に対し、「2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件」について諮問しました。

1 諮問の背景


移動衛星通信システム等は、同報性、広域性、耐災害性等の衛星通信システム固有の特徴を有するほか、上空、海上、離島等での通信手段として、平時に加えて災害時において重要な役割を果たしています。

我が国においては、1. 5/1. 6GHz 帯（L 帯）、2. 5/2. 6GHz 帯（S 帯）、12/14GHz 帯（Ku 帯）を用いた移動衛星通信サービスが提供されており、海外では測位衛星サービスなども提供されつつあります。

今般、東日本大震災等を受けた新たな衛星通信ニーズ、研究開発動向、諸外国の動向等を踏まえ、移動衛星業務に周波数分配のある 2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件について検討することが必要となっており、国際調整の手続きを開始したところです。

このため、技術的観点からの 2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件について諮問を行うものです。

2 審議事項

2GHz 帯等を用いた移動衛星通信システム等の在り方及び技術的条件について審議が行われます（別紙参照 ）。

3 審議体制

情報通信技術分科会における審議に資するため、衛星通信システム委員会において、検討が行われます。

4 今後の予定

平成 27 年度を目途に答申を受け、その後、関係規定の整備等を行う予定です。

連絡先

総合通信基盤局電波部衛星移動通信課
担当：渡辺課長補佐、宮良衛星事業係長
電話：03-5253-5816（直通）

FAX：03-5253-5903

E-mail：mss_atmark_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「_atmark_」を@に直して入力して下さい。）

編集後記

2月3日は節分でしたが、みなさんのご家庭では、豆まきを行いましたか？当方の豆まきは、殻つきの落花生を用いて行いました。豆まきをした後、まいた豆を回収して食べますが、殻つきで大きいため回収しやすく、中身が汚れないので結構合理的だと思います。ちなみに筆者は、北海道出身です。

（編集子：Oz）



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
http://www.arib.or.jp E-mail arib_news@arib.or.jp